

学校だより



# 育ての泉

大津市立膳所小学校 児童数 635人  
「ひとり立ちできる子ども」

- なかよくする子ども
- よく考える子ども
- 心の豊かな子ども
- じょうぶな子ども

HP <http://www.otsu.ed.jp/zeze/>  
平成29年11月9日発行

## 『平成29年度全国学力・学習状況調査分析結果について』

### ○調査目的

- ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ◇学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 【結果について】

#### 《概要》

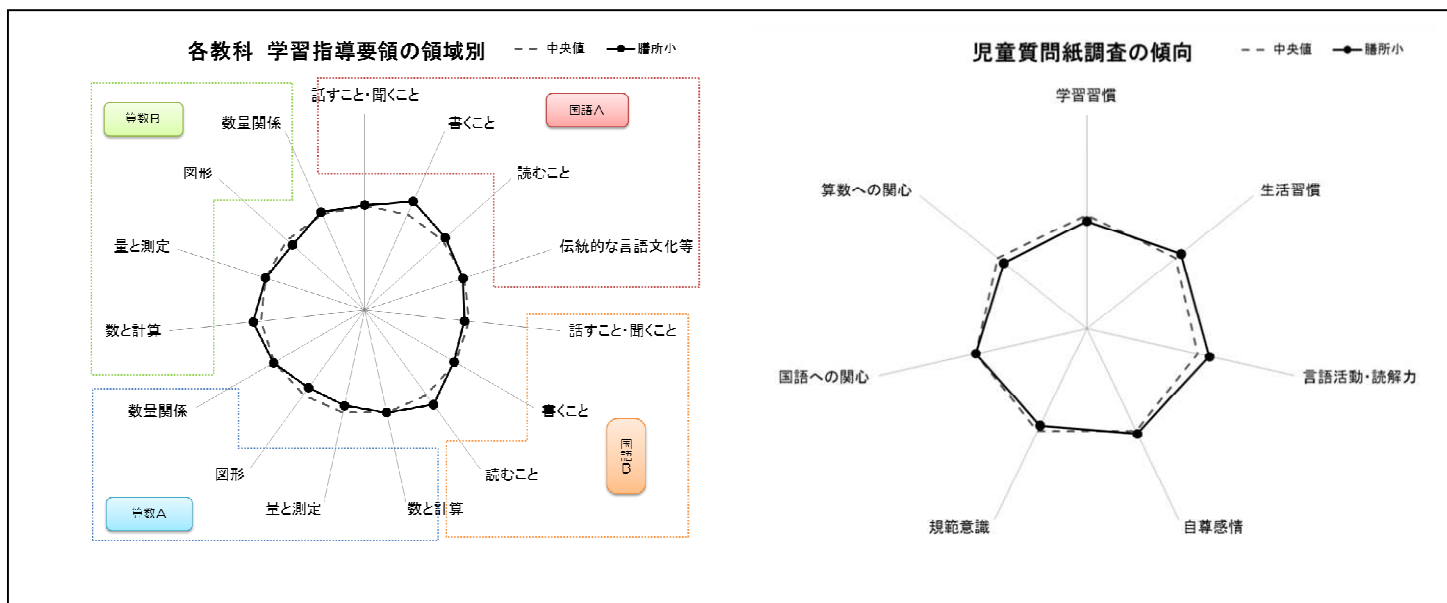
算数Aのみ全体の正答率が全国の平均を若干下回りましたが、国語A・国語B・算数Bにおいては、滋賀県や全国の平均を上回っていました。内容の項目では、国語Bの「話すこと・聞くこと」、算数Aの「量と測定」「図形」、算数Bの「図形」において、全国の平均を若干下回ったものの、その他の項目については滋賀県や全国を上回っていました。児童質問紙調査では、「学習習慣」「規範意識」などの項目で、滋賀県や全国の平均を下回るものが見られました。家庭での学習への取り組みや学び方については今後の課題と考えられます。

#### 《強み・弱み》

国語A、国語Bともに「書くこと」「読むこと」の問題でよい傾向が見られました。また、「友達と考えたり深めたり広げたりする活動」に意識の高さが見られました。これは校内研究において、話し合い活動を通して文章を深く読みとり、目的に応じて書くことに取り組んできた成果であると考えられます。しかし、算数の「図形」や「量と測定」の問題には苦手な傾向が見られました。

### ◇強み・弱みレーダーチャート◇

※本校の傾向を見るためのものであり、学校ごとに基準が異なるため、他校と比較できるものではありません。



※グラフは全国平均正答率と本校平均正答率のポイント差に基づいて作成しました。破線はポイント差の中央値を表しています。破線より外側の場合は強み（成果が現れている項目）、内側の場合は弱み（改善を検討する項目）と捉えることができます。

## 【指導の充実に向けて】

- ◇各教科における言語活動をさらに充実させ、読むことと書くこと、話すこととの関連を図った取り組みを進めます。
- ◇学習への関心を高め、友達と考えを深めたり広めたりする活動の経験を増やすため、アクティブ・ラーニング等の参加型学習を取り入れ、「できた」「わかった」と実感できる授業をめざします。
- ◇基礎的・基本的な内容を定着させるために日常の継続的な取り組みを進めます。

### 膳所小学校HP「今日の膳所小」より

#### 登校指導（ひまわり隊の皆さんと）



#### 1年秋さがし（茶臼山）



#### 外国語活動（ハロウィン）



#### 教育課程訪問



#### P T A ぜぜ小まつり



#### こじか校外学習（京都市民防災センター）

